

2023年度版 (令和5年版)

新規就農者向け
パンフレット

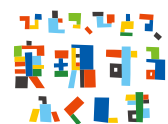
たむら

たのしく

むりない

田村地域で、はじめよう!!
新しい農業の「カ・タ・チ」
ふくしま「た・む・ら」

ライフ
ワーク



ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業
(地域を支える農業者等確保総合事業)

田村地域就農支援プロジェクト



狼ノ神農園
白岩 洋さん(39)

出身地…田村市
就農年度…令和2年度
経営内容…(就農時)ミニトマト8a
(現在)ミニトマト22a、
ふきのとう10a、ブロッコリー15a

就農しようと思った経緯

東京に勤めていたが、両親が元気なうちに地元に戻ったほうが良いと考えていました。その際に、祖父が農家だったこともあり、機械や農地もあるから農業も職業としていいと思いました。就農フェアに参加し、研修や就農への支援もあることが分かり、魅力を感じました。同じ年代の人たちが活躍しており、就農することへの不安はあまり感じませんでした。

就農までの経過

- 2018 (平成30年) —● 就農フェアに参加、就農相談
- 2019 (令和元年) —● (株)JAアグリサポートたむらで雇用研修を開始
福島県農業総合センター農業短期大学校での農業研修(中級)に参加
- 2020 (令和2年) —● 海外農業研修に参加
就農(ミニトマト)
原子力被災12市町村農業者支援事業を活用し、パイプハウスを整備



- 活用した事業 / ・ 農業者スキルアップ支援事業(市) ・ 農業次世代人材投資事業(経営開始型)(国)
・ 原子力被災12市町村農業者支援事業(国) ・ 新規就農者経営発展支援事業(市)

※事業名は就農当時のものであり、現在の事業名や内容、要件等と異なる場合があります。

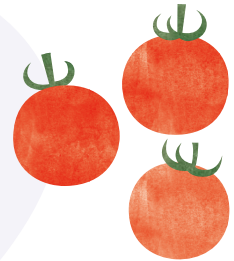


Q 農業の魅力や、やりがいを感じること

自分の裁量で何でも行うことができ、スケジュールも組みやすいです。また、地元で農業の先輩や仲間がおり、刺激をもらうことができます。他にも、購入者や食育を通じた学校関係者など異業種の方ともつながることができることも魅力です。

Q 就農時に苦労したこと

農業の知識がなく、計画作成が大変でした。しかし、悩むのが大変だったおかげで、後悔は少なかったです。先輩農家から失敗談も含めて話を聞き、ほ場も見せてもらいました。1回しか始まりはないからしっかりと自ら行動し、いろいろな話を聞いたうえで、自分のちょうどいいを見つけられるようにした方がよいと思います。



田村市の新規就農に対する支援

農業者支援事業

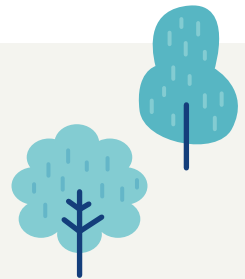
- ・新規就農者経営発展支援事業… 農業用機械や資材等の購入等に対する支援（上限50万円）
- ・農業者スキルアップ支援事業… 研修に対する旅費等の支援（上限5万円）

短中期研修受入れ農家一覧

- ・(株)JAアグリサポートたむら
経営品目：トマト、イチゴ、ブロッコリー、スナップエンドウ等
- ・(株)JA和牛ファーム福島さくら
経営品目：和牛繁殖
- ・箭内倉貴さん
経営品目：野菜苗、トマト、その他野菜類

- ・齋藤英憲さん
経営品目：野菜苗、トマト、ズッキーニ等
- ・壁谷和男さん 経営品目：水稲、大豆
- ・佐久間耕栄さん
経営品目：ピーマン、ナス、ブロッコリー等
- ・新田 浩さん 経営品目：ピーマン

- ・(株)GREEN for TABLE
経営品目：ミニトマト
- ・渡辺浩延さん
経営品目：コマツナ
- ・渡辺 広さん
経営品目：菌床シイタケ



advice 新規就農者へのアドバイス

就農前は農業に関していろいろな想像をするけど、始めてみるとギャップがあります。就農を考えている地域の農家の話をしっかりと聞くことが大切です。実際に行動して、見て、聞いて、体験することで不安をなくすることができます。自分に合った農業のスタイル、始め方をしてほしいです。



橋本 剛さん(36)

就農年度…令和4年度
経営内容…ピーマン
(露地・施設) 13a

就農しようと思った経緯・理由



自分で何かを作りたいという気持ちがあり、自分で稼いでいける農業をやりたいと思いました。祖父が遺した土地や農業機械があったので、土地を荒らしたくないといった気持ちもありました。農業は正解がない分、工夫次第ではどんなことでもできるし、頑張ったら頑張った分だけ成果が目に見えるので、自分の性分には合っているかと思います。

研修

- 活用した事業 / ・農業次世代人材投資事業交付金（就農準備型）（国）
- 研修場所 / ・グリーンファーム込木

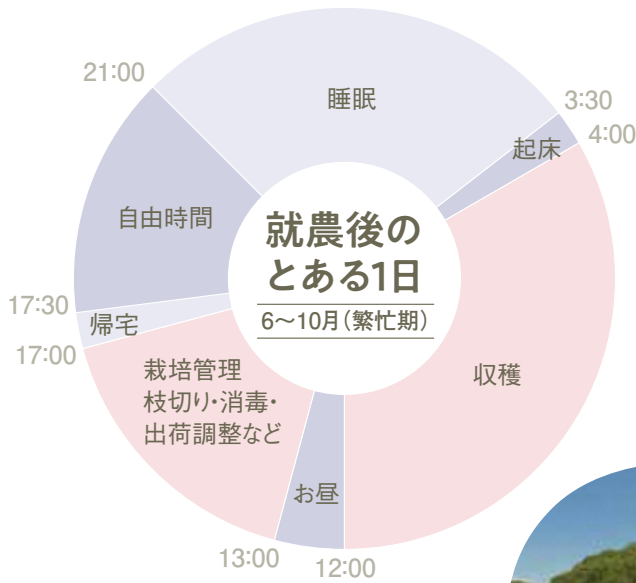
※事業名は就農当時のものであり、現在の事業名や内容、要件等と異なる場合があります。

Q 研修の内容

作付品目はピーマンと早い段階で決まっていたので、研修先もスムーズに決まりました。研修では、ピーマンの栽培管理全般が中心でしたが、それ以外にも他品目の苗の栽培や水稲作業など、農家全般のことについて学ぶことができました。

Q 研修をやってみて

- ①人脈が広がった！
研修親を通じて、地元の人とのつながりが広がりました。今でも、農作業の手伝いに来てもらっています。
- ②農業研修は1日1日が大事！
その日学んだことを記録した研修日誌は就農後の今でもすぐ役に立っています。研修期間は収入面で不安になりましたが、中途半端にせず研修に集中してやりきったおかげで、技術・知識は身についたと思っています。



Q 農業の良いところ

良い所は自分がやりたいことが出来る所です。正解がないので失敗することもあるんですが、どうして失敗したのか反省をして次に生かすようにしています。



Q 農業の厳しいところ

基本ポジティブなので、悪いところは思いつかないですが、自然を相手にしているので、何か家庭等で起こっても突発的に動くことが出来ないことがあります。



Q これからについて

農業だけでなく、三春の地域を盛り上げて行きたいです。近所の方は気持ちの良い人ばかりで、何かしたいと言ったら手伝ってくれる人が多くて有り難いです。農業を通じてできた繋がりを大切にしながら、地元の文化を子供や孫に繋いでいきたいと思っています。



advice 新規就農者へのアドバイス

資金が必要！

生活費、資材、開業資金等、何かと資金が必要になる場面が出てくるので、農業資金はあった方が良いでしょう！

パソコンやインターネットの活用！

今は昔と比べて情報が多く、24時間365日入手可能です。勿論、地域によって特性が違うので、調べた営農に関するアイデアが自分のほ場で出来るかどうかについて、JAの営農指導員や県農業普及所、先輩農家と話してギャップを修正しながら取り入れたりしています。

03 小野町

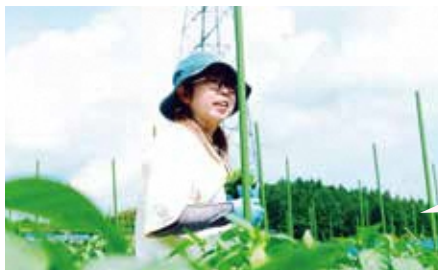
ONO TOWN



U
ター

Floating Gold Farmers
荒谷 瑞穂さん(51)

就農年度…令和3年度
経営内容…ピーマン露地15a、
トウモロコシ15a、
スナップエンドウ4a、水稲40a



就農しようと思った経緯

帰省する度に目にする耕作放棄地が気になり、農業に関心を持つようになりました。耕作放棄地の解消と次世代に農業をつなぐお手伝いができればとの思いから就農を決意しました。

就農までの経過

高校卒業後東京で進学、就職、結婚しましたが、夫の転勤で仙台に引っ越したのをきっかけに帰省の機会が増えました。子育てがひと段落したタイミングでUターンし、農業関連の会社でアルバイトをしながら情報収集をしつつ農業短大の研修などを利用して就農の準備をしました。

Q 農業の魅力や やりがいを感じることに

自分の作った野菜を美味しいと食べてもらえることが一番のやりがいです。

ピーマン嫌いのお子さんが、私の育てたピーマンを食べてくれて「ピーマンが食べられるようになりました!」とお手紙をくれたのが何より嬉しかったです。自然の中で人間関係のストレスなく働け、日々の作業に達成感を積み重ねていけるところも魅力です。

Q 就農時に 苦労したこと

ピーマンの収穫、選別と日々の管理作業などやらなければならないことが多く、作業をうまく回しきれずに苦労しました。

また、資材や機材などの初期投資はかなりのかかるので資金面での苦労もありました。



Q 就農前の想像と違ったこと

実際にやってみると色々な資材・機材が必要で、思っていた以上に資金がかかりました。

また、収穫期は収穫作業と選別、さらには栽培管理を並行して行わなければならない、就農前に考えていたよりも作業量も多くなりハードでした。



Q 前職と比べて農業の良いところ

人間関係のストレスがなく、周りの方も温かく見守ってくださるのでとても良い環境の中で働かせていただいていると思います。

農業を通して色々な方と知り合う機会も増え、人とのつながりが広がりました。

自然の中で体を動かし汗をかく仕事なのでダイエットにもなりました！

Q 農業の厳しいところ

栽培品目やどんな作り方をするか、日々の作業内容など全て自分で決められるのは魅力である反面、責任も全て自分で負わなければならない厳しさがあると思います。

また、天気や環境要因に大きく影響されるのも農業の厳しさだと思っています。

● 活用した事業 / ・ JA 福島さくら農家応援団事業 ・ 風評に打ち勝つ園芸産地競争力強化事業(県)
融 資 制 度 ・ 青年等就農資金

※事業・融資制度名は就農当時のものであり、現在の事業・融資制度名や内容、要件等と異なる場合があります。



advice 新規就農者へのアドバイス

就農前の情報収集や研修をしっかりとした上で就農されると不安なくスムーズに就農できると思います。

情報収集においては生の声を聞くことがとても役立ちますし、就農後のイメージもしやすいと思いますので、地域の農家の方などに話を聞けると参考になると思います。

資金の準備も必要になりますので、まずは自分で調べた上で、普及所や行政に相談し活用できる制度や資金はないか十分に検討されると良いと思います。

いずれにしても自分で調べるということが大切に思います。自分で調べた上で相談することで、得られる知識も増え情報の確度も上がるので、まずは自分で調べることをお勧めします。

就農を志す前に!!

就農相談者の心構え

- 就農までには十分な準備期間がある**

農地・住宅の確保や就農計画の認定等には、1年～2年程度の時間を要することが多いので、それを見越して就農準備期間を確保しましょう!
- 就農・生活するための十分な資金がある**

就農するには営農に必要な資機材を購入するため初期投資資金のほかに、経営安定までの生活費を確保する必要があります。
- 就農前に十分な技能・知識を習得する意志がある**

農業経験のない方は、就農前に1～2年程度の研修を受け、しっかりと栽培技術や経営管理に関する技能・知識を習得する必要があります。
- 地域との関わりを積極的に持つ意志がある**

地域活動への参加や周辺農業者との交流を積極的に行いましょう。農業のノウハウを蓄積した地域の方とのつながりは、農業経営確立の近道です。
- 農業経営計画や将来の展望に関する営農計画を作成する意志がある**

自ら主体的に情報収集を行い、経営の方向性や内容を徐々に明確にしていき、農業で生活していけるよう経営収支について考える必要があります。

就農相談～就農準備～就農後のフォローアップ 様々な相談に応じます!

田村地域で就農するメリット

point
01

「田村地域就農支援プロジェクト」構成メンバー等が、一体となったワンストップ支援!

point
02

借受け可能な農地や、空き住宅等の情報、営農に必要な農業用施設・機械等の導入に向けた支援事業の情報等、タイムリーにお知らせします。

point
03

個人で購入するには負担の大きい機械は低額でレンタルもできます! (P12)

田村地域就農支援プロジェクト 構成メンバー等

- 田村市
- 三春町
- 小野町
- 各農業委員会
- JA福島さくらたむら統括センター
- (株)JAアグリサポートたむら
- 田村地方農業士協議会
- 田村「農」ネットワーク
- 福島県中農林事務所田村農業普及所

就農までの流れ

就農相談

就農相談者の対応

めざす農業経営像を考える
 どんな作物が作りたいか、どの程度の所得を得たいか、どんな暮らしがしたいかを就農相談時にお聞かせください。

田村地域に足を運ぶ
 自分の理想のイメージと就農後のミスマッチを防ぐため、現地見学会やお試し就農体験会に参加しましょう。

田村地域就農支援プロジェクトの対応

相談者の聞きとりを丁寧に行った上で田村地域におけるきめ細やかな就農支援の情報を提供します。

田村地域をより深く知ってもらうため、先輩農家の話や実際に農作業を行う現地見学会等を開催しています。
 より詳しく農業という職業を知ってもらうため、短期(1泊2日程度)のお試し就農受け入れも行っていきます(詳しくはP12)。

研修

就農後のビジョンを明確にする
 いつ・どこで・どんな農業を始めるか等の就農後のビジョンをより明確にし、その実現に向け、研修計画や準備スケジュールを立てます。

長期研修を実施する
 目指す農業経営に必要な栽培技術や知識を習得するため、必ず長期研修を受けましょう。

相談者の準備状況に応じて、面談を重ね、専門的な視点から研修計画や準備スケジュールの作成を支援します。
 相談者の意向に合わせ、研修先(P11)との受入調整を行います。

定期的に研修先を巡回しフォローアップを実施します。また、座学による農業簿記等の研修等も開催し、就農に向けた準備を支援します。

就農準備

本格的な就農準備
 研修と並行し、概ね就農1年前から就農に必要なものの確保や手続きを進めましょう。

青年等就農計画(P10)の立案
 将来の目標に即し、経営形態・経営規模・所得等について年次毎に経営目標を立て市町から認定を受けます。

農地・住居等の情報提供・斡旋、営農に必要な資機材に関する助言、各種支援事業(P9~10)に関する情報を提供し活用を支援します。

専門的な視点から、就農から5年後までの経営の発展、目標の設定について助言し、青年等就農計画(P10)の立案を支援します。

就農

○ 販売先の拡大
 ○ 栽培技術等の研鑽
 ○ 地域の農業者との交流

○ JA等への加入
 ○ 定期巡回によるフォローアップ
 ○ 新規就農者交流会や各種研修会の開催

就農してからも先輩農業者の紹介や定期巡回を実施し常時サポートします!

支援事業一覧

活用段階	事業・制度名	事業・制度内容	主な要件
相談 ↓	ふくしま移住希望者支援 交通費補助金	福島に移住する際に必要な現地調査・現地活動を行った場合に、その 交通費の実費または定額を補助 する	<ul style="list-style-type: none"> 福島県外に居住している18歳以上、福島県内への移住を検討している 事前に移住推進員と要面談(オンライン可) 市町村移住相談窓口との面談を実施
研修 ↓	新規就農者育成総合対策 (就農準備資金)	農業技術の習得のための研修を受け る場合、 年間最大150万円を最長2年間交付 する	<ul style="list-style-type: none"> 就農時予定年齢が49歳以下で研修後1年以内に就農し、認定新規就農者等になる 研修先は県が認定したものに限る 研修期間は概ね1年以上、年1,200時間以上 前年の世帯所得が600万円以下
就農準備 ↓	「住んでふくしま」 空き家対策総合支援事業	福島県外からの移住者や条件を満たす県内居住者等が行う空き家の 改修、清掃等の費用を最大250万円補助 する。	<ul style="list-style-type: none"> 対象とする建物は、空き家バンクに3ヶ月以上居住・使用がない建物 自らが居住するために、購入または賃借した空き家である 事業を活用した空き家に3年以上居住する
就農～ 就農後	新規就農者育成総合対策 (経営発展支援事業)	機械・施設、家畜導入、果樹の新・改植、機械等リース料等の 初期投資的な経費	<ul style="list-style-type: none"> 独立・自営就農時の年齢が49歳以下の認定新規就農者 本人負担分について、融資を受けていること
	新規就農者育成総合対策 (経営開始資金)	新規就農者に対し 経営開始1～3年目 150万円を交付 する	<ul style="list-style-type: none"> 独立・自営就農時年齢が49歳以下の認定新規就農者 経営開始5年目までに農業で生計が成り立つ実現可能な計画を策定している 前年の世帯所得が600万円以下
	青年等就農資金	営農に必要な資金を 最大3,700万円無利子で貸付 する。返済期間は17年以内(うち5年は据置期間)	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者

※補助事業・融資制度の利用には、上記要件以外のその他要件を満たす必要があります。また、融資制度は審査を受けることとなります。
 ※上記事業・融資制度は令和5年度の内容から抜粋しています。年度によって要件等が変更になる可能性があります。

認定新規就農者になることで 各種支援事業等の活用が見込めます！

認定新規就農者とは？

認定新規就農者とは、それぞれ市町村の区域内において、新たに農業経営を営もうとする青年(※)等であって、青年等就農計画(P10)を作成して市町村から認定を受けた者。

※青年(原則18歳以上45歳未満、ただし、やむを得ない事情があり市町村が認める場合は50歳未満)、知識・技術を有する者(65歳未満)、これらの者が役員のお半を占める法人

※農業経営を開始してから一定期間(5年)以内の者を含み、認定農業者を除く

就農～就農後に活用できる各市町及びJAの独自支援事業

市町名	事業名	事業・制度内容	主な要件
田村市	新規就農者経営発展支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青年等就農計画を達成するために必要な農業用機械・資材等の購入等に対し支援を行う ・補助率：定額 (10/10) ※上限50万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年等就農計画の認定を受けた者 ・青年等就農計画における2年目の作付を行う者
	農業者スキルアップ支援事業	<p>(短期研修タイプ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営スキルの向上を目的とした先進地等への視察研修に対し支援を行う。 ・補助率：定額 ※上限5万円 <p>(長期研修タイプ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定新規就農者を目指す方が行う2か月以上の研修にあたり、旅費等の支援を行う ・対象経費：旅費、傷害保険料 ※上限5万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・田村市内で新規就農した者、もしくは市内で新規就農を計画している者 ・65歳以下
三春町	新規就農者応援給付事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認定時に30万円、認定から1年経過したときに20万円、2年経過したときに10万円を交付する 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年等就農計画の認定を受けた者 ・認定時の年齢が65歳未満の者
	新規就農者等住居費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・申請から24か月間の家賃に対し支援を行う ・補助率：月額1/2以内、月額2万円を上限 	<ul style="list-style-type: none"> ・三春町内で独立就農し若しくは三春町内の農業法人等に就農し、又は三春町内の就農に係る研修を受講している者で、その期間が2年を超えないもの ・三春町内に転入した満50歳未満の者 ・町民税等の滞納がないこと ・上記新規就農者応援給付事業を受けない者
小野町	夢のある農業者育成推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就農後1年を経過したときに10万円、2年経過したときに20万円、3年を経過したときに30万円の計60万円を支援金として交付する 	<ul style="list-style-type: none"> ・小野町内の50歳以下の新規就農者等 ・農業研修生に対しても新規就農者と同様に扱うものとする
JA	JA 福島さくら農家応援団事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に栽培を始める生産者に対して種苗費、元肥、初期生産資材に対して助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・共販出荷者・直売所登録会員で、共販の場合は、新規に栽培を始める者とし直売所の場合は、新規登録者とする。他

※補助事業・融資制度の利用には、上記要件以外のその他要件を満たす必要があります。また、融資制度は審査を受けることとなります。
 ※上記事業・融資制度は令和4年度の内容から抜粋しています。年度によって要件等が変更になる可能性があります。

青年等就農計画とは？

【計画の内容】

青年等就農計画とは、就農から5年間の営農計画で、市町村が認定します。内容は経営品目、経営規模、所得等の目標を記載します。

【認定の要件】

市町村は、申請された青年等就農計画が次の要件を満たす場合に、その計画を認定します。

- (1) その計画が市町村の基本構想（所得目標等）に照らして適切であること
- (2) その計画が達成される見込みが確実であること 等

.....▶ 田村地域の農業研修先 ◀.....

田村市

(株)JAアグリサポートたむら
【代表】 櫻田 春夫

研修品目 / トマト、イチゴ、ブロッコリー、
スナップエンドウ等



田村市

咲倉ナーセリー
【代表】 箭内 倉貴

研修品目 / 野菜苗、トマト、その他の野菜類



田村市

新田 浩

研修品目 / ピーマン



三春町

グリーンファーム込木
【代表】 安部 昭市

研修品目 / ピーマン、ハウレンソウ、
ブロッコリー、ふきのとう等



三春町

(株) OFs-Link
【代表】 大内 俊昌

研修品目 / きゅうり、トマト、カブ等



小野町

(株)伸ちゃん牧場
【代表】 長谷川栄伸

研修品目 / 肉用牛 (肥育)



小野町

吉田 政美

研修品目 / ニンニク (加工を含む) 等



小野町

橋本 浩幸

研修品目 / 酪農 (生乳、乳子牛)、
肉用牛 (繁殖)



小野町

吉田 仁

研修品目 / コマツナ



.....▶ 田村地域の就農関連情報 ◀.....

01 就農関連情報 特設ページ



田村地域農業の概要、おすすめ就農品目についての情報が掲載されています。

02 お試し就農体験に 参加しませんか?



お試し
就農体験
動画



本格的な就農、研修開始の前に、日帰り・1泊2日程度のお試し就農体験に参加しませんか?

03 レンタル可能な農業機械



トラクター

耕うん、うね立てなどのひと通りの畑作業が行えます。



管理機

トラクターより細かい作業が可能で、栽培ハウス内の作業でも大活躍!



野菜用移植機

野菜苗の植え付け作業が簡単に行えます。



電動播種機

手押しの播種作業の作業性向上と労力負担軽減が可能です。

田村地域では、新規就農者がレンタル可能な農業機械があります。就農後、経営に必要な農業機械を少しずつ揃えていくことで初期投資費用を抑えることができます!



堀越 健太
です

田村市役所農林課
連絡先: 0247-81-2511



柳田 知美
です

三春町役場 産業課
連絡先: 0247-62-2112



吉田 靖章
です

小野町役場 産業振興課
連絡先: 0247-72-6938



阿久津 優太
です

JA福島さくら
たむら統括センター 営農課
連絡先: 0247-82-6171



工藤 夏実
です

県中農林事務所
田村農業普及所
連絡先: 0247-62-3113

就農地域がお決まりの方は該当市町へご相談ください。
就農地域や品目でお悩みの方はJA、田村農業普及所までご相談ください。

田村地域 暮らしの情報

Tamura Living information

自然が豊かで穏やかな田園地域だけど
暮らしに必要な施設やちょっとしたおでかけ先も
ちゃんとあって意外と近い！

MIHARU

[教育機関]

- 幼稚園・保育園等施設…7 施設
- 小学校…6 校、中学校…2 校、
高等学校…1 校、私立専門学校…1 校

[医療機関]

- 公的医療機関…1 カ所
- 民間医療機関…8 カ所

[主な商業施設・スーパー等]

- ヨークベニマル三春店、三春の里田園生活館等

買い物・飲食店等 BRITOMART (三春町)

“職人のものづくり”をコンセプトに、空間から商品まで手作りこだわったレストランやベーカリー、カフェ、インテリア、ローカルフードセレクトショップなどが融合したコラボレーションストア



娯楽施設

リカちゃんキャッスル (小野町)

リカちゃんの博物館と人形の製造工程を見学できるオープンファクトリーを併設したテーマパークで、お城の庭園でのお散歩も魅力です。



ONO

[教育機関]

- 幼稚園・保育園等施設…2 施設
- 小学校…1 校、中学校…1 校、
高等学校…1 校

[医療機関]

- 公的医療機関…1 カ所、民間医療機関…6 カ所

[主な商業施設・スーパー等]

- おのショッピングプラザ、
ヨークベニマル小野町店等

TAMURA

[教育機関]

- 幼稚園・保育園等施設…13 施設
- 小学校… 7 校、中学校…6 校、
高等学校…1 校

[医療機関]

- 公的医療機関…4 カ所、
- 民間医療機関…14 カ所

[主な商業施設・スーパー等]

- ふねひきパーク、メガステージ田村、
リオンドール船引店等

娯楽施設

グリーンパーク都路 (田村市)

「緑とホップの風が感じられるブルワリー」(ホップジャパン) 常時4~5種類のクラフトビールが提供され、外遊び用の遊具貸出もあります。マルシェなどのイベントも開催されます。



田村市 TAMURA City

川内村



Farmer's Store

直 売 所 情 報

ふあせるたむら (田村市)

田村地域のJAファーマーズマーケット。国道近くにあり、農業者としての販売先としてももちろん日々のお買い物にも活用できます。イートインコーナーのピザやジェラートが評判。ふあせるたむらへの出荷で、郡山などの消費地圏にある大型直売所(※)への出荷も可能です。

三春の里 かご市 ~三春の里田園生活館~ (三春町)

宿泊・娯楽施設等が併設されており、観光客だけでなく地元の人も足を運ぶ直売所です。四季折々にイベントも開催されます。



おのげんき (小野町)

いわき市に向かう国道沿いに設置された直売所です。地元の農産物を中心に地元和菓子店のお菓子や惣菜も取り扱っています。



※ 郡山の 大型 直売所

●愛情館 (郡山市)

県内売上げ額トップクラスの直売所

●あぐりあ (郡山市)

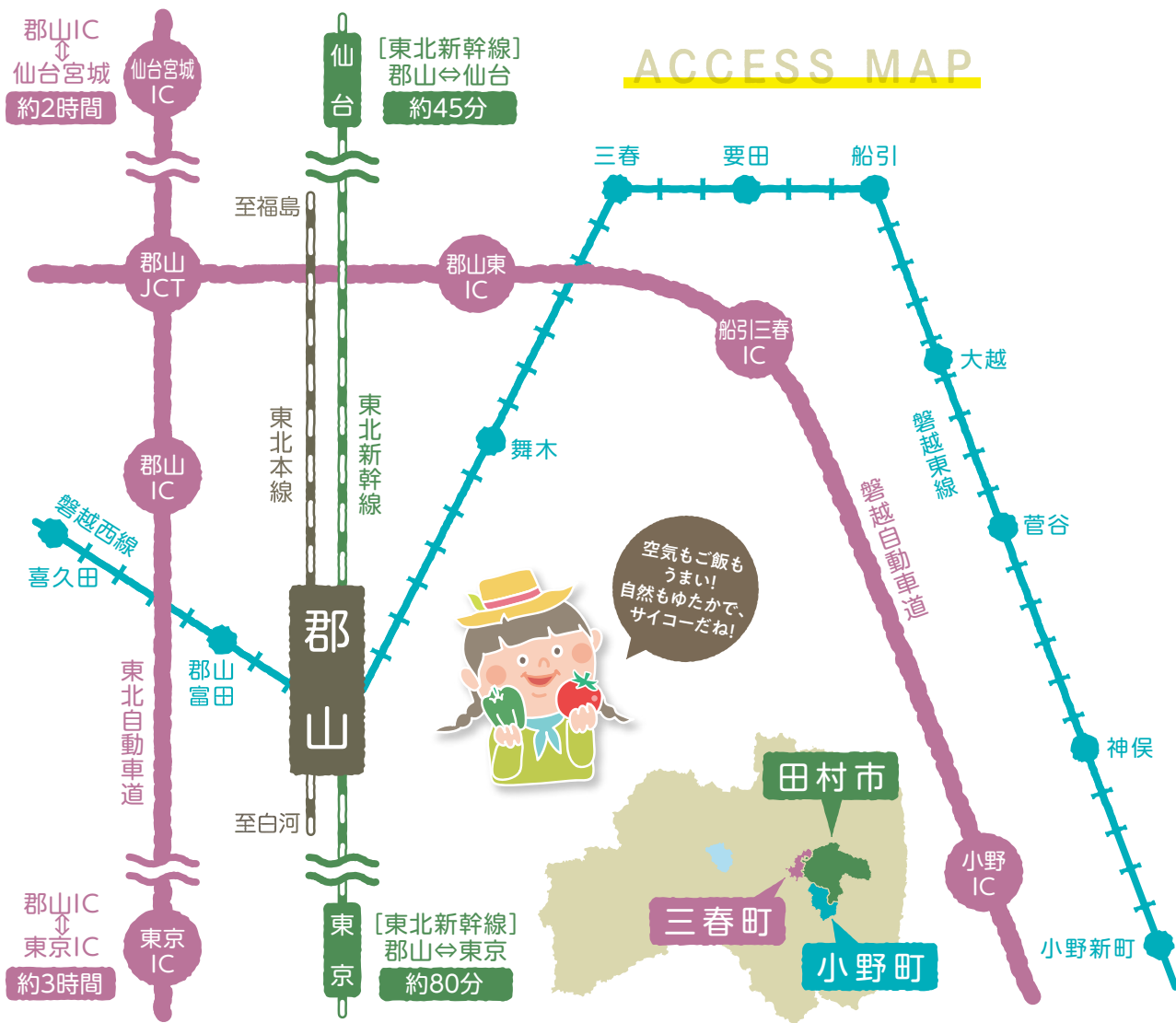
2021年に新設されたばかりの直売所



いわき市

あなたが望む農業がここにある。

福島県たむら地域



ACCESS

田村市 TAMURA

- JRで
 - 東北新幹線で約80分(東京⇄郡山)
 - 磐越東線で約30分(郡山⇄船引)
- お車で
 - 東北自動車道→磐越自動車道ご利用の場合 浦和ICから郡山ICまで約2時間40分
 - 郡山JCTから磐越自動車道で 船引三春ICまで約20分、小野ICまで約30分
 - 福島空港から約40分

三春町 MIHARU

- JRで
 - 東北新幹線で約80分(東京⇄郡山)
 - 磐越東線で約13分(郡山⇄三春)
- お車で
 - 東北自動車道・磐越自動車道で約3時間30分(東京IC⇄郡山JCT⇄郡山東IC)
 - 常磐自動車道・磐越自動車道で約3時間(東京IC⇄いわきJCT⇄船引三春IC)
 - 福島空港から約40分

小野町 ONO

- JRで
 - 東北新幹線で約80分(東京⇄郡山)
 - 磐越東線で約50分(郡山⇄小野新町)
- お車で
 - 東北自動車道→あぶくま高原道路で約2時間30分(川口JCT⇄矢吹IC⇄小野IC)
 - 常磐自動車道・磐越自動車道で約2時間15分(三郷IC⇄いわきJCT⇄小野IC)
 - 福島空港から約20分

就農相談先

田村市産業部農林課 TEL.0247-81-2511
 三春町産業課 TEL.0247-62-2112
 小野町産業振興課 TEL.0247-72-6938

JA福島さくらたむら統括センター営農課 TEL.0247-82-6171
 福島県農中農林事務所田村農業普及所 TEL.0247-62-3113
 株式会社JAアグリサポートたむら TEL.0247-76-1022